

令和2年度 事業実施計画書（モデル的事业）

団体名：国府町まちづくり協議会

1. モデル的事业名	コミュニケーター養成事業
2. 事業名	飛騨国府歴史まちづくり推進事業 「国府遺産コミュニケーター」養成事業
3. 目的	地域の特性として「歴史・文化」が挙げられるものの、その特色がまちづくりに十分に活かされていない。本事業では、来訪者等に説明案内できるガイドを養成する。
4. 事業内容	<p>日本遺産の構成文化財を含む国府地域の歴史文化遺産を《国府遺産》と総体的に捉え、講座やガイド体験を通して、《国府遺産》を子供たちや来訪者に説明案内できるようなガイド「コミュニケーター」を養成する。「コミュニケーター」は、観光ガイドのスキルに加え、地域の特性である歴史・文化の奥深さや魅力を専門的知識がない人にも分かりやすく伝えられる人材を意味し、歴史・文化について自分で調べて学ぶことのできるスキルの習得をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドをニーズに合わせて派遣する体制の整備を見据え、講座やイベントの受付対応、広報事務、会計などの業務を担当する事務局人件費を確保する。</li> <li>・着地型観光商品を開発するためのモニターツアーを実施し、高山中心部からの誘客を促進する。「歴史まち歩き」や「まが玉づくり体験」など、歴史体感プログラムをツアーに組み込み、地域の魅力を来訪者に五感で味わってもらえるコンテンツ開発に取り組む。</li> </ul>
5. 効果見込	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国府遺産コミュニケーター」養成事業として継続的に行っていく講座やツアーが、「国府遺産コミュニケーター」養成事業によって養成されたコミュニケーターの活躍の場の1つとなる。</li> <li>・開発された国府遺産まち歩きコース・ツアーが、観光客や歴史研究者等の誘致につながっていく可能性が期待される。</li> <li>・地域の魅力を再発見することで、さまざまな局面で新たな価値を創造する可能性が期待される。</li> <li>・地域住民に地域への誇りと愛着を育むことで、住み続けたいと思えるまちづくりの実現に近づくことができる。</li> </ul>

令和2年度 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
4月～	テキスト作成	・講座で得た解説ポイントをふまえたテキストをカード式で作成	
9月	視察	・先進事例視察 (南アルプス市)	
10月	歴史まち歩きツアー	・ブラ国府 ー半田編ー	
9月	講座	・徹底解説編1「古代地名」の巻	
9月	歴史まち歩きツアー	・ブラ国府 ー鶴巣編ー	
9月	講座	・徹底解説編2「石造物」の巻	
10～11月	歴史体感ツアー	・モニターツアー実施 (高山駅発着バスツアー)	
10月	講座	・徹底解説編3「大原騒動」の巻	
10～11月	ガイド体験	・てんこもりツアーにてガイド体験	
11月	歴史まち歩きツアー	・ブラ国府 ー三川編ー	
11月	講座	・徹底解説編4「民俗・生活資料を活用する地域回想法」の巻	
11月	歴史まち歩きツアー	・ブラ国府 ー八日町編ー	
12月	講座	・徹底解説編5「美術工芸」の巻	
3月	講座	・徹底解説編6「ブラ国府総集編」の巻	

令和2年度 国府町まちづくり協議会 収支予算書（モデル的事業）  
「国府遺産コミュニケーター」養成事業

【収入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	1,100,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
自主財源	16,800	
合 計	1,116,800	

【支出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
事業費	1,116,800	1,100,000	
人件費	319,200	302,400	事務局人件費
報償費	140,000	140,000	講師謝礼
旅費	150,000	150,000	講師旅費、先進事例視察
需用費	91,600	91,600	消耗品費、印刷製本費
使用料及び賃借料	300,000	300,000	会場使用料、バス借上料
役務費	91,000	91,000	チラシ配布
委託費	25,000	25,000	テキスト作成委託料
合 計	1,116,800	1,100,000	